



何年前に栽培したことがありましたが、本数も少なく栽培管理が行き届かなかったこと貧弱な生育状況になったことがあります。今回は魂をこめて栽培管理にあたりました。ゴーヤという野菜を事前に下調べして7本移植しました。5月20日過ぎに植木鉢に移植し、南側の軒下3mの高さで西日を完全にさえぎることができ、夜も網戸で過ごすことができました。

生育の管理は、雨の日を除いて朝と夕方の給水は絶対に欠かすことはできないので管理を徹底したおかげで満足する緑のカーテンとなった。元肥は植木鉢に鶏糞（ベシット加工）と土をサンドイッチに入れ移植し、6月下旬に追肥として、野菜2号の肥料を少々与えました。その後 朝、新聞を取りに行くとか何か、ゴーヤ君が「はよう水が呑みたい」と呼んでいるようで、いつの間にか給水が、家の裏が集落の河川があり自然と生活習慣が朝晩の給水が仕事となり、日ごとに成長が一段と目立ち、集落の人が緑のカーテンを見に来てくれる方が日増しに気づいてくれるなり関心度を感じました。

種は赤と白の色のぶら下がり具合が、緑のカーテンがコントラストを描き興味を区民の目に写るようです。

種を残しているので来年は早い目に計画して、緑のカーテン作りを普及できたらと集落の広報で環境教育の啓発の紹介できればと考えています。

栽培にあたって苦勞するというより、人間、水がなければ生活できないのと、同様、食物も水は不可欠で、毎日の家庭生活で水を大切にする生活習慣の環境教育と家庭教育の表裏一体の条件整備の併用が、必要と感じました。

